



9月6日（土）

国家資格推進委員会企画シンポジウム 第1会場（1F メインホール）

時間 10:30 ～ 12:00

国家資格化は今！ー7ー

【法文案と議員連盟 新しい法律を作ることへ私たちの挑戦】

～国家資格に向けて議員・官僚・音楽療法士・関係するすべての人たちとともに～

シンポジスト 秋野 公造（参議院議員・一般社団法人日本音楽療法学会顧問）

藤本 禮子（一般社団法人日本音楽療法学会理事長）

長居 由子（一般社団法人日本音楽療法学会代議員）

司会 二俣 泉（一般社団法人日本音楽療法学会副理事長）

特別講演 第1会場（1F メインホール）

時間 13:00 ～ 14:30

A S D（自閉スペクトラム症）のこころを聴く

～障害をどのように捉えるのか～

本田 秀夫（信州大学医学部子どもこころの発達医学教室）

基調講演（動画上映） 第8会場（4F 中会議室 406）

時間 13:30 ～ 15:10

音楽社会学の視点から見た音楽療法

～ Care for Music（音楽に心を寄せるとのこと）～

ティア・デノーラ（エクセター大学 社会学教授）

※オンデマンドと同じ内容です（9月1日～30日まで配信）。

※スピンオフ企画「オンライン・トークセッション」

時間 16:10 ～ 17:10

大会企画シンポジウム 第1会場（1F メインホール）

時間 15:00 ～ 16:00

レジェンドたちの声を聴く

シンポジスト 遠山 文吉

貫 行子

松井 紀和

村井 靖児



プログラム

□演（ショート） 1 第3会場（3F 中ホール 300） 時間 10：00～11：20 座長：一ノ瀬智子

発表時間	演題番号	発表領域	対象領域	発表者名	演題名	ページ
10:00～10:20	OS1-1	③事例報告	児童	村脇玲奈	リーチングの発現を目的とした重症心身障害児への個別セッション ～歌いかけと楽器の提示を通じた介入～	48
10:30～10:50	OS1-2	③事例報告	児童	澤木見佳	人工呼吸器装着中から介入した超急性期の音楽療法	49
11:00～11:20	OS1-3	③事例報告	児童	雫 裕子	児童発達支援事業所における多職種協働～A児の言語による要求とやりとりを増やす介入と工夫について～	50

□演（ショート） 2 第4会場（2F 中会議室 202） 時間 10：00～11：20 座長：高橋和奈枝

発表時間	演題番号	発表領域	対象領域	発表者名	演題名	ページ
10:00～10:20	OS2-1	③事例報告	児童	山本賀子	音楽を通し人と関わる楽しさを目指した音楽療法目的的行動と3項関係の発達に關与した音・声・楽器の関わり	51
10:30～10:50	OS2-2	③事例報告	児童	松井千代子	ウィリアムズ症候群Aさんへの音楽レッスンに関する報告～ピアノ演奏や歌唱による楽しみの獲得～	52
11:00～11:20	OS2-3	③事例報告	児童	宮崎利奈	注意欠陥・多動性障害（ADHD）傾向のある未就学児へウクレレを用いた個別音楽療法	53

□演（ロング） 1 第5会場（2F 中会議室 201） 時間 10：00～11：30 座長：高橋多喜子

発表時間	演題番号	発表領域	対象領域	発表者名	演題名	ページ
10:00～10:40	OL1-1	②研究発表（事例）	高齢者	奥田真希子	関係性が促進させた音楽療法の実践ー慣れ親しんだ音楽の歌唱を通して自己を表現し合うことー	36
10:50～11:30	OL1-2	①研究発表（学術）	高齢者	甲谷 至	「パタカラ」と「パタカラ以外」発音の違いについての考察 第2報ーサ・ハ・ヤ行の効果を可視化するー	37

□演（ショート） 3 第3会場（3F 中ホール 300） 時間 12：15～13：35 座長：羽石 英里

発表時間	演題番号	発表領域	対象領域	発表者名	演題名	ページ
12:15～12:35	OS3-1	②研究発表（事例）	高齢者	小森亜希子	認知症を有する方への音楽療法臨床の意義ーAーQOAを用いた評価・分析を用いての検討ー	54
12:45～13:05	OS3-2	③事例報告	高齢者	杉浦音恵	認知症A氏最後の3年間の変遷に見る音楽療法の有効性ーADL・QOL・EOLに並走してー	55
13:15～13:35	OS3-3	③事例報告	緩和ケア	北構小瑞	緩和ケア病棟の家族への音楽療法ー今を生きる患者への共感と気づきー	56

プログラム

□演（ショート） 4 第 4 会場（2F 中会議室 202） 時間 12：15～13：35 座長：久保田牧子

発表時間	演題番号	発表領域	対象領域	発表者名	演題名	ページ
12:15～12:35	OS4-1	③事例報告	高齢者	伊崎舞乃	多職種兼務が生んだ信頼関係 ～重度認知症高齢者との個別音楽療法 を通じた一考察～	57
12:45～13:05	OS4-2	④その他自由	その他	岡本 光	ブラジル音楽における即興と対人相互 作用 ― □承文化との関連から音楽療 法への示唆を考える	58
13:15～13:35	OS4-3	①研究発表（学術）	高齢者	近藤里美	認知症者の音楽のアセスメント尺度 (MiDAS) 日本語翻訳暫定版作成：言語 的妥当性の検討 第 2 報	59

□演（ロング） 2 第 5 会場（2F 中会議室 201） 時間 12：15～13：45 座長：馬場 存

発表時間	演題番号	発表領域	対象領域	発表者名	演題名	ページ
12:15～12:55	OL2-1	②研究発表（事例）	成人	吉本三恵	重度心身障がい者 B さんへのアプロー チ ～有効だったセラピーの視点につ いて～	38
13:05～13:45	OL2-2	②研究発表（事例）	精神科	森平直子	音過敏のある患者のうつ病回復期の調 整的音楽療法～使用曲の選択に当たっ ての留意点～	39

□演（ショート） 5 第 3 会場（3F 中ホール 300） 時間 14：00～15：20 座長：宇津野裕子

発表時間	演題番号	発表領域	対象領域	発表者名	演題名	ページ
14:00～14:20	OS5-1	③事例報告	高齢者	森井二三代	99 歳認知症女性の個人セッション事例 ～自室でのキーボード演奏を通して～	60
14:30～14:50	OS5-2	③事例報告	高齢者	吉良まゆみ	「生活に張りを持つ」事を目標とした 高齢者集団音楽療法 物語仕立ての映 像と歌唱による自伝的記憶の想起	61
15:00～15:20	OS5-3	③事例報告	高齢者	石原郁子	能動的音楽療法を夕方の時間帯に変更 したことによる、認知症入所者の夜間 帯の睡眠の変化	62

□演（ショート） 6 第 4 会場（2F 中会議室 202） 時間 14：00～15：20 座長：近藤 里美

発表時間	演題番号	発表領域	対象領域	発表者名	演題名	ページ
14:00～14:20	OS6-1	③事例報告	精神科	三浦直美	長期入院患者に対する集団音楽療法と リカバリー―他病棟でギター演奏を披 露するに至った A 氏―	63
14:30～14:50	OS6-2	③事例報告	精神科	児玉令江子	鬱病患者の心を開く音楽の使い方～寄 り添える音楽を即興で模索する～	64
15:00～15:20	OS6-3	③事例報告	その他	草野こず恵	音積み木でのメロディ演奏が高次脳機 能障害患者にもたらしたもの ～良好な コミュニケーションへ向けて～	65



プログラム

口演（ロング） 3 第5会場（2F 中会議室 201） 時間 14：00～15：30 座長：森川 泉

発表時間	演題番号	発表領域	対象領域	発表者名	演題名	ページ
14:00～14:40	OL3-1	③事例報告	児童	小山美保	軽度の知的発達障害児 K くんとの音楽療法の体験	40
14:50～15:30	OL3-2	①研究発表（学術）	その他	宇田川さくら	障害児の集団音楽療法における熟達者と学習者の身体動作の研究—楽器活動における身体動作に焦点を当てて—	41

口演（ショート） 7 第3会場（3F 中ホール 300） 時間 15：45～17：05 座長：白川ゆう子

発表時間	演題番号	発表領域	対象領域	発表者名	演題名	ページ
15:45～16:05	OS7-1	②研究発表（事例）	児童	松井千恵子	ASD 児に対する歌いかけと足底刺激の有効性に関する一考察 ～低緊張児の覚醒度上昇を目指して～	66
16:15～16:35	OS7-2	②研究発表（事例）	児童	太田倫代	劇上演から見た児童の主体性の育ち～音楽劇『笠地蔵』の発表を終えて～	67
16:45～17:05	OS7-3	②研究発表（事例）	児童	南 美帆	放課後等デイサービスでのリクエスト活動による集団の「場」づくり～4つの「C」のプロセスから考察する	68

口演（ショート） 8 第5会場（2F 中会議室 201） 時間 15：45～17：05 座長：三宅 聖子

発表時間	演題番号	発表領域	対象領域	発表者名	演題名	ページ
15:45～16:05	OS8-1	②研究発表（事例）	高齢者	村田沙由里	歌唱提示による自律神経刺激から誘発された心肺の安定 ～オキシオセンサーから認められる脈拍数の減少～	69
16:15～16:35	OS8-2	②研究発表（事例）	高齢者	石原千鶴	慢性期運動性失語症患者への長期分散型日本語版メロディックイントネーションセラピーの臨床効果—第2報—	70
16:45～17:05	OS8-3	②研究発表（事例）	高齢者	甲斐義宏	Balint 症候群の症状改善を認めた一例 ～音の高低差を併用して～	71

自主シンポジウム 1 第2会場（2F 中ホール 200） 時間 10：00～11：30

演題番号	企画者名	演題名	ページ
SS1	工藤亜希子	音楽療法の「伴奏」の役割、位置づけ、そしてその力 ～精神科音楽療法場面での「伴奏」を通して～	114

自主シンポジウム 2 第7会場（4F 小会議室 405A） 時間 10：00～11：30

演題番号	企画者名	演題名	ページ
SS2	柿崎次子	ICF に基づく重症心身障害児者への音楽療法の課題 —対象者の能力を引き出すための他職種連携について—	115



プログラム

自主シンポジウム 3 第2会場 (2F 中ホール 200) 時間 12:15 ~ 13:45

演題番号	企画者名	演題名	ページ
SS3	高橋拓也	特別支援学校において”音楽”の果たす役割 ～これからの授業づくりに必要な視点についての探究～	116

自主シンポジウム 4 第6会場 (1F 大会議室 101) 時間 13:00 ~ 14:30

演題番号	企画者名	演題名	ページ
SS4	鈴木涼子	音楽療法士が対象者に貢献し、かつ幸せに生きるためには必要なことは何か	117

自主シンポジウム 5 第2会場 (2F 中ホール 200) 時間 14:00 ~ 15:30

演題番号	企画者名	演題名	ページ
SS5	尾形由貴	GIM トレーニングがもたらした内面の変化と臨床への応用 —音楽療法士が語る実体験—	118

自主シンポジウム 6 第2会場 (2F 中ホール 200) 時間 15:45 ~ 17:15

演題番号	企画者名	演題名	ページ
SS6	上羽由香	Listen ! 自閉スペクトラム症児の保護者の音なき声～音楽療法士としてできる保護者支援を考える～	119

自主シンポジウム 7 第4会場 (2F 中会議室 202) 時間 15:45 ~ 17:15

演題番号	企画者名	演題名	ページ
SS7	下川陽菜	多様性の時代における音楽療法士の職業観と働き方 —価値と選択のゆらぎの中で—	120

公募ワークショップ 1 第6会場 (1F 大会議室 101) 時間 10:00 ~ 11:30

演題番号	企画者名	演題名	ページ
WS1	藤本静江	「高齢者の音楽療法の現場」—音楽療法せたがやくらぶのセッションより—	127

公募ワークショップ 2 第7会場 (4F 小会議室 405A) 時間 13:00 ~ 14:30

演題番号	企画者名	演題名	ページ
WS2	青木久美	ドラムサークルを体験しよう	128

公募ワークショップ 3 第7会場 (4F 小会議室 405A) 時間 15:00 ~ 16:30

演題番号	企画者名	演題名	ページ
WS3	高橋 咲	テクノロジーを使って演奏してみよう!	129



プログラム

ポスター ポスター会場 (2F コンコース) 在席時間 13:30 ~ 14:30

演題番号	発表領域	対象領域	発表者名	演題名	ページ
P1	①研究発表 (学術)	その他	白川ゆう子	共演パートナーがタイミングを合わせることが音楽大学生と一般大学生の同期精度と主観的印象に与える影響	88
P2	①研究発表 (学術)	その他	駒久美子	音楽療法士のマインドを探る PAC 分析ー音楽療法士マインドは保育者養成の表現教育に援用可能かー	89
P3	②研究発表 (事例)	児童	林 俐君	障害児対象の音楽療法における音楽の共創過程ー非言語的コミュニケーションの様相に着目してー	90
P4	③事例報告	児童	園田和江	幼稚園のインクルーシブ教育を支える音楽活動ー音楽療法の知見と保育の連続性ー	91
P5	③事例報告	児童	高橋尚子	音楽でのコミュニケーションを目的とした発達障害児に対する個人音楽療法ー音楽が言葉の代わりになるまでー	92
P6	④その他自由	児童	日吉穂歌	特別支援学校における、音楽療法の要素を取り入れた音楽の授業の実践 高等部生の3年間	93
P7	②研究発表 (事例)	高齢者	山田裕子	高齢者デイサービス利用者への集団音楽療法ー握力に関する筋肉負荷運動を取り入れた過程ー	94
P8	③事例報告	高齢者	横佩 泉	最期まで自分らしく生きる (タイコが好きな A 氏と共に)	95
P9	③事例報告	高齢者	堀 早苗	集団音楽療法における若年性認知症 A 氏へのアプローチについて考えるー「隣支援」の試みからー	96
P10	④その他自由	高齢者	峯 静香	人ー地域ー医療を繋ぐ場をつくるフリースペースでの音楽療法の役割とは	97
P11	①研究発表 (学術)	高齢者	川田美遥	認知症高齢者の音楽療法におけるキーボードの音色変化機能の使用現状ー音楽療法士への実態調査からー	98
P12	③事例報告	成人	細見幸子	ダウン症 A 氏の集中力持続を目指した自主グループでの音楽療法ーカスタネットを用いたリズム活動を通してー	99
P13	④その他自由	その他	高田由利子	音楽療法士になった理由を聴くーオンラインプロジェクト「インタビューズ」の新たな展開ー	100



プログラム

9月7日 (日)

日野原賞受賞記念講演 第1会場 (1F メインホール) 時間 9:15 ~ 10:00

市民講座 第1会場 (1F メインホール) 時間 10:30 ~ 12:00

脳科学から見た認知症 ~ご本人の気持ちを聴くためにできることはなにか~

恩蔵絢子 (東京大学大学院 特任研究員)

口演 (ショート) 9 第3会場 (3F 中ホール 300) 時間 10:15 ~ 11:35 座長: 北脇 歩

発表時間	演題番号	発表領域	対象領域	発表者名	演題名	ページ
10:15 ~ 10:35	OS9-1	①研究発表 (学術)	その他	鈴木琴栄	音楽療法士の即興的音楽性の発展プロセスについて	72
10:45 ~ 11:05	OS9-2	①研究発表 (学術)	その他	山田莉子	音楽療法セッションの記録のあり方について ~ベテランとビギナーの記録の比較及びインタビューを通して~	73
11:15 ~ 11:35	OS9-3	①研究発表 (学術)	その他	小高天音	児童を対象とした対面での音楽療法における ICT 導入の検討 - 音楽療法士と音楽療法専攻生への実態調査 -	74

口演 (ショート) 10 第4会場 (2F 中会議室 202) 時間 10:15 ~ 11:35 座長: 伊藤 孝子

発表時間	演題番号	発表領域	対象領域	発表者名	演題名	ページ
10:15 ~ 10:35	OS10-1	②研究発表 (事例)	高齢者	藤原直子	歌でつながる地域と施設 ~うたごえ喫茶によるコミュニティ音楽療法の試み~	75
10:45 ~ 11:05	OS10-2	②研究発表 (事例)	高齢者	磯上朋子	在宅高齢者の遠隔音楽療法に求められること 第1報 - 遠隔音楽療法歌声サロン会員インタビューからの考察	76
11:15 ~ 11:35	OS10-3	②研究発表 (事例)	高齢者	中谷菜々美	終末期がん患者に対する回想法を用いた新しい音楽療法を行った症例について	77

口演 (ロング) 4 第5会場 (2F 中会議室 201) 時間 10:15 ~ 11:45 座長: 三宅 博子

発表時間	演題番号	発表領域	対象領域	発表者名	演題名	ページ
10:15 ~ 10:55	OL4-1	①研究発表 (学術)	その他	小森亜希子	「What can't music do?」をめぐる自主勉強会の対話とテキストマイニング分析	42
11:05 ~ 11:45	OL4-2	①研究発表 (学術)	その他	鈴木裕也	音楽療法士が見出す「音楽療法の価値」のインタビュー調査 - SCAT と三つの価値領域による分析 -	43

プログラム

口演（ショート） 11 第 3 会場（3F 中ホール 300） 時間 12：30～13：20 座長：二俣 泉

発表時間	演題番号	発表領域	対象領域	発表者名	演題名	ページ
12:30～12:50	OS11-1	①研究発表（学術）	児童	佐藤裕子	音楽療法自主グループの地域での長期継続支援のプロセス分析 ～音楽療法は社会でどのように貢献できるか～	78
13:00～13:20	OS11-2	①研究発表（学術）	児童	上羽由香	自閉スペクトラム症児の注意機能に対する音楽療法の促進効果：実験的検討	79

口演（ショート） 12 第 4 会場（2F 中会議室 202） 時間 12：30～13：50 座長：近藤 靖子

発表時間	演題番号	発表領域	対象領域	発表者名	演題名	ページ
12:30～12:50	OS12-1	③事例報告	児童	齋藤彩花	神経発達症の子どもの「パズル課題への動機づけ」を高める音楽の効果ー課題の呈示に音楽を使用する意義ー	80
13:00～13:20	OS12-2	③事例報告	児童	佐藤恵李	就労を控えたダウン症をもつ青年の意思表出 ～音楽活動でのリーダー経験が自信につながった事例～	81
13:30～13:50	OS12-3	③事例報告	児童	遊佐稲波	染色体異常による発達障害を持つ 14 歳男児との個別音楽療法～音楽表現の平等性が推進する療法的関係	82

口演（ロング） 5 第 5 会場（2F 中会議室 201） 時間 12：30～14：00 座長：伊藤 美恵

発表時間	演題番号	発表領域	対象領域	発表者名	演題名	ページ
12:30～13:10	OL5-1	③事例報告	児童	武本友美	重度 ASD 児 A の情動変化に合わせた音楽療法 ～不調期から好調期への変容～	44
13:20～14:00	OL5-2	②研究発表（事例）	児童	市村真理子	自閉スペクトラム症児の個人音楽療法～音楽の気づきからインターアクションへの発展～	45

口演（ショート） 13 第 3 会場（3F 中ホール 300） 時間 13：45～15：05 座長：小柳 玲子

発表時間	演題番号	発表領域	対象領域	発表者名	演題名	ページ
13:45～14:05	OS13-3	④その他自由	その他	高田由利子	スーパービジョンにおいてバイザーに音や音楽の臨床的な聴き方を促すバイザーの試行的な取り組みについて	85
14:15～14:35	OS13-1	②研究発表（事例）	その他	田口友美	大学生と障害者施設のオンラインセッションによるコミュニティ音楽療法の実践的検討 ～ TEM 分析を通して	83
14:45～15:05	OS13-2	④その他自由	その他	政木真理子	回復期リハビリテーションにおける音楽療法の心理社会的意義 ～ナラティブな視点からの一考察～	84



プログラム

口演（ショート）14 第4会場（2F 中会議室 202） 時間 14：15～15：05 座長：廣川 恵理

発表時間	演題番号	発表領域	対象領域	発表者名	演題名	ページ
14:15～14:35	OS14-1	①研究発表（学術）	高齢者	白川弘子	健康な高齢者が「自分らしく生きる」のを応援する音楽療法 ―「ACT」を基にした集団音楽療法」の効果―	86
14:45～15:05	OS14-2	①研究発表（学術）	高齢者	森川 泉	四季を通じてのセッションと参加者の身体変化	87

口演（ロング）6 第5会場（2F 中会議室 201） 時間 14：15～15：45 座長：目黒 明子

発表時間	演題番号	発表領域	対象領域	発表者名	演題名	ページ
14:15～14:55	OL6-1	①研究発表（学術）	高齢者	樋口香穂	特別養護老人ホームにおける「社会的処方」の可能性 ～小集団音楽療法による参加者の「生活の質」から～	46
15:05～15:45	OL6-2	①研究発表（学術）	高齢者	木村仁美	作業療法と音楽療法の統合による高齢者へのピアノ指導―心身機能と満足感に着目したメソッドの検討―	47

自主シンポジウム 8 第2会場（2F 中ホール 200） 時間 10：15～11：45

演題番号	企画者名	演題名	ページ
SS8	柿崎次子	音楽療法における多重感覚刺激の役割 ―感覚統合の考え方に基づく対象者領域ごとの活用例―	121

自主シンポジウム 9 第6会場（1F 大会議室 101） 時間 10：15～11：45

演題番号	企画者名	演題名	ページ
SS9	伊藤啓子	学びと仕事の狭間で働く音楽療法士 ～悩みを共有し、明日への仕事に繋げる～	122

自主シンポジウム 10 第2会場（2F 中ホール 200） 時間 12：00～13：30

演題番号	企画者名	演題名	ページ
SS10	岡崎香奈	音楽療法の臨床において音と音の「あいだ」を聴くこと ―ノードフ・ロビンズ音楽療法の記録作業から―	123

自主シンポジウム 11 第6会場（1F 大会議室 101） 時間 12：30～14：00

演題番号	企画者名	演題名	ページ
SS11	生野里花	参加者の視点に注目する音楽療法プロセス研究に向けて ～はじめの一步～	124

自主シンポジウム 12 第2会場（2F 中ホール 200） 時間 14：15～15：45

演題番号	企画者名	演題名	ページ
SS12	丸山典子	聴覚障害と音楽～人工聴覚器を使用した音楽の聴こえ	125



プログラム

自主シンポジウム 13 第 6 会場 (1F 大会議室 101) 時間 14 : 15 ~ 15 : 45

演題番号	企画者名	演題名	ページ
SS13	和田京子	「生きづらさと共に生きる音楽療法士」が「生きづらさと共に生きる対象者」にできること	126

公募ワークショップ 4 第 7 会場 (4F 小会議室 405A) 時間 10 : 00 ~ 11 : 30

演題番号	企画者名	演題名	ページ
WS4	白川弘子	健康な高齢者が「自分らしく生きる」のを応援するために ー ACT の理論・方法を基にした集団音楽療法ー	130

公募ワークショップ 5 第 8 会場 (4F 中会議室 406) 時間 10 : 00 ~ 11 : 30

演題番号	企画者名	演題名	ページ
WS5	尾形由貴	音楽を通して死生観を語る対話的ワークショップ ーミュージック@デスカフェの対話手法を用いてー	131

公募ワークショップ 6 第 7 会場 (4F 小会議室 405A) 時間 12 : 15 ~ 13 : 45

演題番号	企画者名	演題名	ページ
WS6	西 愛里	シニアを対象とした介護予防活動の幅を広げる取り組み ー楽器中心の介護予防活動の実践を通してー	132

公募ワークショップ 7 第 8 会場 (4F 中会議室 406) 時間 12 : 15 ~ 13 : 45

演題番号	企画者名	演題名	ページ
WS7	高山 仁	AQR (関係の質アセスメント) 評価法の試行的ワークショップ	133

公募ワークショップ 8 第 1 会場 (1F メインホール) 時間 13 : 00 ~ 14 : 30

演題番号	企画者名	演題名	ページ
WS8	多田羅康恵	ネイティブに学ぶアフリカンドラム 有能感・達成感・交流感を生み出すセッション 構築を目指して	134

公募ワークショップ 9 第 7 会場 (4F 小会議室 405A) 時間 14 : 15 ~ 15 : 45

演題番号	企画者名	演題名	ページ
WS9	栗田 萌	「子どもの心をつかむオリジナル曲」を作る ー目標を達成するための工夫と音楽の魅力を高めるアイデアー	135

公募ワークショップ 10 第 8 会場 (4F 中会議室 406) 時間 14 : 15 ~ 15 : 45

演題番号	企画者名	演題名	ページ
WS10	新倉晶子	終末期・緩和ケアでの音楽療法のあり方 ー死と向き合っている人に寄り添おうとする音楽とはー	136



プログラム

ポスター ポスター会場 (2F コンコース) 在席時間 13:30 ~ 14:30

演題番号	発表領域	対象領域	発表者名	演題名	ページ
P14	①研究発表 (学術)	成人	LI MEIXUAN	調整的音楽療法が女子大学生の月経随伴症状によるストレスに及ぼす効果 ―第1期における介入について―	101
P15	①研究発表 (学術)	その他	松山久美	音楽療法の社会貢献に関する一考察 REF インパクト調査をもとに	102
P16	②研究発表 (事例)	その他	加戸敬子	パーキンソン病患者への心理支援としての音楽療法	103
P17	③事例報告	児童	井上祐子	YouTube 鍵盤動画を使っのピアノレッスンとリコーダーを使用した音楽療法	104
P18	③事例報告	児童	柳沼千穂	放課後等デイサービスでの音楽活動の実践 ～異なる障害や学齢でのグループ活動の試みと得られた効果～	105
P19	④その他自由	児童	猪野 純	音楽療法が提供するものと家族の期待との適合性を探る (2) ～家族に向けたわかりやすい報告書の創案～	106
P20	③事例報告	高齢者	望月しおり	高齢者デイサービスの集団セッションにおける楽器活動～楽器を介在した率直な表出と Th との関係の変化～	107
P21	③事例報告	高齢者	齊藤恵利子	アルツハイマー型認知症後期の A さんに関わった個人セッション 感情表現に働きかける音楽	108
P22	③事例報告	高齢者	谷口奈緒美	脳梗塞生活期における失語症患者の音楽療法～言葉は発せられないが歌が歌える A 氏に音楽ができること～	109
P23	④その他自由	その他	室 智美	地域で繋がる音楽療法士の取り組み～歌声喫茶を通して～	110
P24	③事例報告	高齢者	白木淳子	集団音楽療法における認知症 A 氏のフレイルドミノ対策～ SOAP を使ったチームアプローチ～	111
P25	④その他自由	成人	鈴木麻依	重度医療的ケア者対象の訪問型生涯学習支援における音楽療法士の取り組みについて	112
P26	③事例報告	緩和ケア	小池みなみ	舌がん再発により気管切開後、自発的歌唱で気管カニューレ抜去に至った症例	113